

Ⅲ. 教育課程表・学科の教育目標・専門科目の学び方

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語総合		現代社会		数学Ⅰ			化学基礎		体育		保健	美術Ⅰ		C英語Ⅰ			工業技術基礎		工業化学実習			情報技術基礎		工業化学		L	H	R	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年	国語総合		地理A		数学Ⅱ		物理基礎		体育		保健	C英語Ⅱ		家庭基礎		工業化学実習			工業化学		化学工学			地球環境化学		L	H	R		

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
3年	現代文A		世界史A		数学Ⅱ		生物基礎		体育		C英語Ⅱ		家庭基礎		課題研究			工業化学実習		生産システム技術		工業化学		化学工学		(選択) 数Ⅲ・リーディング・生物基礎・地域産業と化学・企業実習		L	H	R

教育目標

工業化学に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得させ、職業人として必要な人間性を養い、環境に配慮したものづくりの実践力を育成する。

(重点)

- 1 工業化学に関する基礎的・基本的な知識を理解することで、化学技術の進歩に寄与できる態度と正しい物質観を持ち、化学分析技能の習得から、公正な試験計測を実施できる生徒を育てる。
- 2 化学工場における単位操作・設備・安全に関する基礎知識を習得させ、インターンシップや企業実習を通して職業能力を獲得し、環境に配慮しながら、主体的に自分の人生を拓くことのできる生徒を育てる。

【工業化学科とは?・・・】

いにしえより、**フシギなチカラ**として捉えられていた「**化学**」。私たちは、何からできているのだろうか?

現代化学は「モノの生産」に大きな力を発揮しました。木が成長するのも、コンクリートが固まるのも、電気ができるのも、コンピュータチップが生まれるのも、機械が動く油を作るのも・・・、**みーんな化学の成果**なのです。つまり「**工業化学**」の**学習は産業の根幹**なのです。

応用ができるということは、幅が広いこと。つまり、「化学は、自分の色に合わせられる学習」だということになります。それぞれの目的を、工業化学の学習を通して実現できる高校生活を送る、それが「**工業化学科**」です。

【工業化学科の学習内容】

この世の中で、これ以上分けられない粒とされてきた原子が、どのような場合にどのように動くのか理解するための、学習です。必要なモノは「君の常識」。頭でわからなければ、すぐ実験だ。自然界の**真実**は、教えて欲しいと何度も実験を繰り返した君にだけ、そっと姿を現すものです。

【1年生】

工業化学科で学ぶ目的は、**未来につながる環境を保全すること**にあります。工業技術基礎や実習では、物質を取り扱う正しい技術を習得します。たくさん**の化学物質を正確に扱うことは、ものごとを正しく理解する態度**を育てます。

【2年生】

工業化学の授業も深化し、もう「**コーラは体に悪い**」「**アルカリ性食品は健康にいい**」なんて言う人は**いなくな**ったはず**です**。私たちが得ようとしている**化学の知識は、ヒトの生き方も豊かにするモノ**なのです。

【3年生】

私たちの住む上川と化学の関わりを知らずして**化学科の生徒とは言えません**。少しずつ得てきた**知識を今こそ統合**するときです。「**課題研究**」や「**地域産業と化学**」で、**知識を実学として実らせて**みましょう。また、「**企業実習**」は**生き方を考える情報源**になってくれます。